

@fukuhotkで検索!

風光音



1面…ストライキ学習
2・3面…地本委員会発言集
4面…職対部学習会

学習を力に3・16ストに向かおう

「3・16ストライキ」に向け、地本委員会にて医労連書記次長の吉村得王彦（よしむらとくのすけ）さんを講師に、学習会を行いました。

労働組合は国民の利益代表者
産業別で労働組合が集結する
意義は、各地でそれぞれが勝ち
取ったものを共有し合い、他の
地域、職場に波及させて、全体
の底上げにつなげられること。
産業別のナショナルミニマムを
創ることができる。

各地の地域別最賃と医療・福祉職の賃金水準は連動しているから、福祉職の賃金水準が上が



れば、地域の最賃も引き上げられる。同じように生活保護費や年金も引き上げられる。
労働組合は、組合員の要求を実現するためだけではなく、組合に組織されていない人や国民の利益代表者でもある。

学習し確信を持ち

今たちあがろう

ストライキはみんなて討議しないと実施はできない。組合員一人ひとりが学びを深め、みんなて話し合い要求に確信を持つことが必要。

実際にストをする時に1人2人では意味がないという意見も聞くが、それは違う。ストができないところから一歩踏み出す。

「ストができる」力をつけることが大切。

「利用者さんに迷惑がかかる」という声もある。でもここで諦めて悪い労働条件が続き、仲間が去ってしまったら、より一層利用者さんに迷惑がかかる。

だからこそ、「今がんばろう」と取り組んでほしい。

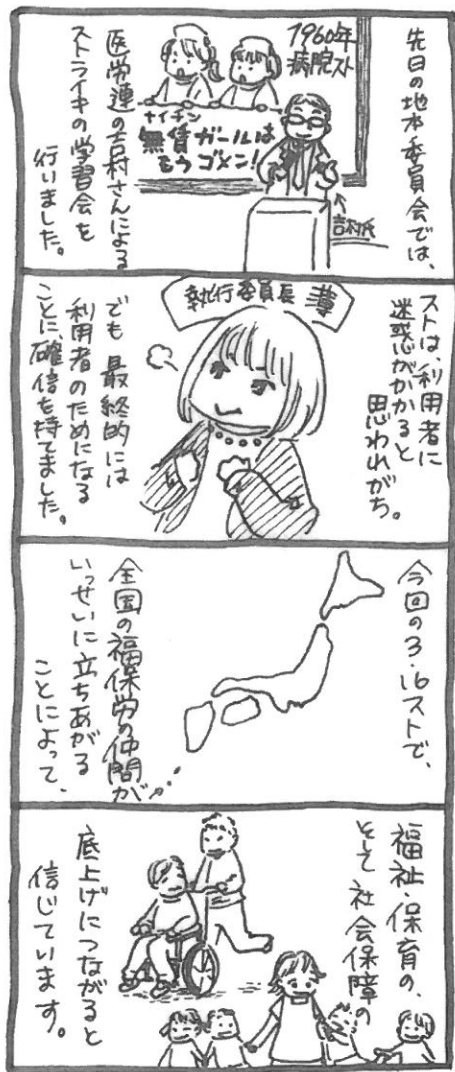
私たち労働者が生き生きと働き続けることが、結果的に子どもたちや利用者さんの権利を守ることになる。繰り返し話し合ってきたことに、改めて確信が持てました。

「3・16ストライキ」に向けて討議し、団結を深め、労働組合にだけ認められたストライキという権利を行使し、国に向けて「大幅人員増と処遇改善」「戦争法反対」の要求をつきつけよう！

風の音

〜或る執行委員のつぶやき〜

▼12月と1月に、大阪と東京と福岡に旅行に行ってきました。正直、私はインドア派なのでどちらかというと家でまったりしている方が性に合っているのだけれど、いざ、到着すると気分も高揚して、その土地の美味しい食べ物や都会の街並みを見て、結局は「来てよかったな！」と思えていきます。▼特に東京と大阪は社会人になってから、年に2、3回は出かけるようになりまして。都会って便利だなと感じるのは公共交通機関の充実さです。のほ公共交通機関の充実さです。以上あるところも少なくなく、ちよこつと歩いただけで駅に入れる。さらに本数も多いので待つ時間も少なく済むのは便利だなと感じています。▼そんな中で1月中旬に福祉車両運転者講習を受けました。そこでいろいろトカーなどの福祉車両を運転していく際の注意や装置の扱い方などを教わりながら、「最近、問題になってきている高齢者の事故が頭を浮かびました。▼私が住んでいる地域もそうですが、車がないと不便・生活できないと感じている人は多いと思います。仮に免許を返納して特典を受けると自治体によりさまざまですが、分るとは言えず、やはり車は手放せない。増えるのは防がねばならない。都会のような利便性があるべつ、高齢者も障害者も健康者もすべての人々が住みやすい街が必要だよなと感じたこの頃です。(末ズ)



作:すずき ひろこ

1月28日(土) 労働会館本館にて、第24回地本委員会が開催されました。地本委員77人・オブザーバー15人・執行委員27人が参加し「17春闘方針」「17春闘統一要求」「スト権管理委員会提案」全ての議案が全会一致で採択されました。

合計18本の発言により「3・16スト」を含む春闘方針が補強され、みんなの力になりました。

第24回地本委員会発言集

①池内わらべ分会 安藤地本委員



みなで討議することを大切に
東海地本は9月の地本定期大会でストライキ権を確立してきた。東海地本としては平和一本で行う方向で進めたいと思っていたが、処遇についてならみなで話しやすい、という意見が出てきたので2本柱でやっていくことにした。

平和でなければ福祉は守れない。分会や支部でみんなの想いを出し合い気持ちを一つにすることが大事。声をあげることの大切さを感じている。その最大の方法がストライキ。分会で、支部で楽しく3月16日に向かおう。

②めいぼく分会 安西地本委員

仲間と一緒にできることに取り組む
ストライキの話を初めて聞いたときは大きいことに感じ、不安もあった。一人では大変だが仲間がいることは心強い。北守山支部でもやれる方法を話し合っている。「フツペンをつけよう」「いつもと違う服装は？」等いろいろな意見が出



⑩新瑞福祉分会 富村地本委員

組合の本気度を見せて要求実現を
一昨年独自で超勤カレンダーを実施。それを元に理事会と話し合うと、理事会も「この要求は本気だ」ととらえ前進した。でも調査数が少ない。今年は項目を絞って、3か月取り組もうと提起した。記録の時間などは減らず、超勤が常態化している実態が明らかになった。1年かけて話し合い、回交を申し入れた。毎月2時間残業してお便りを書いていくのが分かったため、その分の手当てを要求した。データから確信もって訴えることができた。地本提起の超勤カレンダーは全体のデータも出て、国・自治体に訴える力にもなる。みんなで取り組みたい。



⑪めいぼく障害部分会 塚本地本委員
産別で結集し、回交に向かう
団体交渉で「安い賃金では働き続けられず、実践が守れない」と訴えても「情勢不安」という回答で前進はなし。1月に回交をしたが、これが5年ぶり。やっぱり回交はしないとけない。回交に向かうことで要求が可視化される。やってよかった。



⑫さくらんぼの分会 濱田地本委員
障害協会で毎年の交渉の積み重ねを
今年の障害協会の総会にありんこ作業所の方が参加してくれた。今後もつながりを大事にしたい。活動方針を確認し、自治体交渉について明記していく。毎年の交渉の積み重ねを大事にしていく。小グループで交流し、悩みや要求を出し合い自治体要求へつなげたい。会議の開催時間を考え、時間通りに終わることも大事にしたい。

退職金の問題も発覚。臨職時代が含まれていなかったため、要求して出るようになった。

ている。オルグに来てもらい、いつもより人が集まった。

③ほしざき分会 山野地本委員

学習し、理解を深めて伝えよう
若い人はストがわからない、自分もやったことがない。「そもそもストって？」という話が若手から出たので、みんなで読み合わせをして理解していった。分会員がしっかりと理解して利用者に伝えていくことができる。手紙等の「スト決行」の字も硬い字でなく可愛い字で書いてもらうとか、とにかく反応してもらおうことが大事。



④ぐみの木分会 田中地本委員
保護者も処遇改善を求めている
分会にオルグに来てもらい、ストとデモの違いについてから話をしてもらった。この間鈴鹿市に要求書を出し、市交渉をしてきた。3年前から父母と共同で署名も集めている。その中で父母から「処遇改善も必要」との声が出された。運営会議でも組合の報告時間がある。組合員の切実な要求もあり、何かできるか、何をやるか自分たちで決める。



⑤ゆたか支部 平岡地本委員
組織拡大で分会結成に向かいたい
毎年10月から春闘を始め、非正規の人の処遇改善を要求し改善してきた。12年前は組合員一人で法人から攻撃されたこともあったが今は12人に増えた。職場内の組織化が進んだので、3月に「みのり分会」を結成したい。役員が高齢化していて若い人が入ってもバ

⑥天白福祉分会 酒井地本委員
要求を出すことで改善につながる
昨年3月末から急に受託の話が持ち上がり、4月から毎月のように法人会議を重ねてきた。聞きたいことの回答が得られなかったため要望書も出してきた。めばえの人手が足りないのではあから正規は一人送れないか要求書を出した。正規は送れなかったがパートさんを送ることができた。受託が決まったのでさらに人の異動があるが、分会で思いを出し合って健康で働き続けられるようにしたい。

トンタッチできない。ストの話が出来ていないのでゆたか支部でもやれるように話し合いたい。



⑦けやきの木分会 土井地本委員
不満を聞き逃さず要求につなげる
これまでは毎年「時給アップ」と「被服費」を要求してきたが、今年はパートさん自ら「思引き休暇」がほしいと意見が出された。ここにたどり着くまで2、3年かかった。パートさんが集まる機会をつくり、楽しくいろんな話をする中で「同じことを思っている人がいる」と気付けた。その不満を聞き逃さず要求を拾うことを大切に、組織拡大もしてきた。今年は毎月のようにパート部会を開催している。臨パ部会にも参加して他の職場



⑧いりな分会 伊藤地本委員
みんなで話し合い要求を練り上げる
夏ごろから少人数が集まって、話し合っ要求をまとめた。ここ数年の要求で勝ち取ってきたことを支部で「すごい」と言われて、それも励みになった。「会議で休憩時間が減ったら、その分を超勤に」「土曜の行事やまとめ会などを休日勤務手当て」「振休が取れないなら休日勤務手当を」の要求を今年はおおしまと一緒に出す。調理員・栄養士のB等級を求めよう。労使基本協定が、以前理事会に渡してそのままになってしまっていた。改めて分会・理事会双方で確認していく。



⑨おおしま分会 原田地本委員

臨職さんも働き続けられる職場作りを
見つかった臨職さんが他県から来る方で、給与的に一人暮らしが難しい。理事会に手当てなど要求しようか検討していたところ、理事会から前歴加算と住宅手当の加算を逆提案され、それを受けるところに。臨職さんに「育休が取れるか？」と聞かれるが、今まで取ったことがない。でも仲間を支えるために理事会と一緒に取り方を検討しよう要求。他の分会の状況や方法など学んできた。春闘要求も臨職さんが働き続けられる職場づくりを求める。



「憲法で保障された権利を生きかし、団結してがんばろう」

学習し要求をしないと人を大事にする福祉実践はできない。みんなで頑張るって運動していききたい。

⑫さくらんぼの分会 小柳津地本委員

回交で実態を伝え、職場改善に向かう
分会活動を通して、労働環境改善を目指す。「みんなで決めてみんなで進めること」を大事に1月10日の回交に向かう。回交では①夏期冬期休暇を特別休暇②休憩時間保障③ハローワークの求人が不正確、の3点で交渉。「休憩が取れない事業所がある」「余暇対応事業は休憩が取れない」といった実態を外部理事に知らせることができた。ハローワークの問題も対応する約束を取り付ける。今後とも職員同士のつながりを大切に、分会員を増やして活動していききたい。



⑭発達センターあつた分会加藤地本委員

しんどい思いを出し合える場が分会
障害児療育では子どもが楽しいことを探る難しさがあり、親支援も大事にしている。職員も悩むことが多いが、忙しさに追われて中々話し合いが難しい。今年は2人拡大し、新人を含め力二鍋で新年会をし、思いを話し合う。自分のしんどさを出せる分会の場が必要。去年初めて回交をして、予防接種3000円の補助金を勝ち取る。回交の中心について発達センター4分会で「R4」を立ち上げ、統一した思いをより強く太くしていききたい。



⑯片山執行委員

グリーンフェスティバルの実行委員会を開催するので、チラシを見て参加してほしい。今年は2月13日に第1回目の実行委員会を実施する。年度末で行事などで忙しいが、みんなで楽しめる企画にするため分会から送り出しをしてほしい。



⑮望月執行委員

古沢公園の存続を求めて
古沢公園存続を求め署名が7000筆集まった。街づくり委員会や街づくりシンポジウムなどに参加して、以前の計画よりはよくなったが、本来の「公園を残してほしい」という要求の実現はうまくいかない。議員やメディアを回り訴えている。ぜひご協力を。



⑰新瑞福祉分会 山本地本委員

職対部の活動報告
産業医の太田先生に来ていただき、学習会をする。病気になるんだけじゃなく、余暇も楽しめるような文化的に豊かな生活ができるように、夢や希望の持てる職場づくりを目指す春闘。そのためにはぜひ参加をして学習を。



地本カルトクイズ

もっと東海地本のことを知ってもらおうと出来たコーナー！
25周年誌や風光るの中から問題を出題しています！

【第8回の応募者】お題：春の思い出の歌は？

- 石黒 円香さん(田代分会)
⇒「春よ」松任谷由実さん♪
- 宮地 由美さん(田代分会)
⇒「さくら」小学校の卒業式で歌いました
- 中村 満美さん(田代分会)
⇒「世界に一つだけの花」

当選、おめでとございます♪

【第8回目カルトクイズ】

- 第1問：2005年NPTに福保労から代表派遣された人は誰でしょう？⇒榎本さん
- 第2問：2015年最低生計費調査の結果25歳女性の税込収入は月額いくら？⇒227,075円
- 第3問：秋闘労働講座のテーマ「君の〇〇は。」〇〇に入る言葉は何？⇒職場

【第9回目カルトクイズ】

- 第1問：1997年の組合学校はどこで開催したでしょう？
 - 第2問：超勤カレンダーを使って要求した分会は？
 - 第3問：無賃(ナイチン)ガール宣伝の年代は？
- お題：新人の時の失敗を教えてください！

応募方法：FAXやメールでお気軽にご応募ください。

FAX：052-881-2998

E-mail：fukuhotk@onyx.dti.ne.jp

…件名にカルトクイズと記入願います。

回答応募の際には「お題」にそって一言メッセージも書き添えてください。全問正解の方のうち、3名の方のメッセージを紙面に掲載し紹介します。見事掲載された方には地本「風光る」から**1,000円の図書カード**を進呈します！

応募締め切りは5月 2日まで。

当選者は次回5月のグリフェスで発表します。

みんなで「ナマステ〜」



意識して笑顔をつくれれば、本当に楽しくなる

2月10日(金)に職業病対策部主催で「こころの健康を保つために：メンタルヘルスについて考えよう」の学習会を開催。参加者は組合員24人、お子さん2人、講師の方3名の合計29人の参加でした。

毎年、「けんこうを支える会」の特殊健康調査には結果報告を行っています。最近分会状況を聞くこと病休者がいるという報告を聞くことが多い事もあり、「メンタルヘルスについて考えよう」というテーマで学習会を行うことにしました。

内容は①特殊健康調査結果報告②産業医の太田先生の講演③笑いヨガと盛り沢山。講演では労働者のメンタルヘルスを守る必要性とセルフケアについて話されました。自分のストレス度を知るためにスマホをつかって

「5分でもできる職場のストレスセルフチェック」を行いました。(この文言で検索したら誰でもできますよ)

そしてストレスへの対処として「笑い」の効果を学んだ後、みんなで「笑いヨガ」を行いました。口角を上げて「にっこり笑顔」を作ったり、みんなで歩き回って出会い頭に「ナマステ〜」と笑顔で挨拶したりと、会場内に笑い声があがりました。

「ストレスセルフチェックは分会でぜひ行いたい」「心と体の健康を改めて考えるきっかけになった」「笑いヨガ、楽しかったです。分会でも取り組みたい」等の感想が寄せられました。

今後も職対部は「健康で生き生きと働き続けるためには」をみんなで考え合えるような企画を計画していきたいと思えます。(報告：西部医療センター 岡村)

くさのみ分会 岡村

【編集後記】

風光る編集委員となって、すでに半年近く経ちました。その間、風光る3号分に携わってきましたが、実はほとんど記事を書いたことがない私です。(汗) 打ち合わせの段階では、ちゃんと担当が割り振られているのに、対象の学習会に行けなくなりました。たまたま、他のメンバーにお願ひすることになってしまいました。

そんな私が『編集後記』を書いて良いものか。けれどこれを機に、今後はもっとたくさん記事を書けるように頑張りたいなあと思っています。

頑張り続けていきたいなあと思っています。風光る編集委員では、どのようにしたら魅力ある記事になるか、読みたいと思うことが学べてとても面白いです。表紙をどこに配置するかや写真の人物の目線の向きひとつで印象や読みやすさが変わってくるというのも初めて知りました。このような視点で日刊新聞を読んだり楽しそうだし、職場でお読みをみたりするときの参考にもなりそうです。風光るを隅から隅まで近くから遠くから読んでみると、皆さんにもわかると思います。あ、4コマもぜひ読んでください！ (すずきひろこ)

名古屋市長選挙は4月9日告示、23日投票です

河村市長の任期満了にともない、名古屋市長選挙が行われます。

3月1日時点で、いわき正光氏(元副市長)と河村たかし氏(現職)が立候補を表明しています。

「市民税減税」を実施した河村市政で、市民サービスは低下し、大企業・富裕層のみが利益を上げてきました。

この市長選で両候補が何を訴え、どういう名古屋を目指そうとしているのか。市民目線の市政か？市民要求に耳を傾ける姿勢はあるのか？注意が必要です。

両候補の主張・政策を受け止め、仲間と話し合い、市民に寄り添った市政を実行してくれる人を選び、投票に向かいましょう。